

根こぶ病・黄化病抵抗性ハクサイ品種 「あきめき」

温室効果ガス

農薬

肥料

有機農業

生産 品目：ハクサイ

技術の概要

ハクサイの産地では、土壌伝染の病害である根こぶ病と黄化病の発生が大きな問題になっている。「あきめき」は根こぶ病に強い抵抗性と黄化病に中程度の抵抗性を持つ。

4グループの根こぶ病菌に対する「あきめき」の抵抗性					「あきめき」の黄化病抵抗性			
品種名	病原型グループ				品種名	供試個体数	発病株率	平均発病指数
	1	2	3	4				
あきめき	抵抗性	抵抗性	抵抗性	抵抗性	あきめき	14	14.3%	0.18
はくさい中間	抵抗性	抵抗性	弱い抵抗性～罹病	抵抗性	秋理想	48	16.7%	0.13
母本農9号	罹病性	罹病性	抵抗性	抵抗性	黄久娘65	90	83.3%	2.03
CR隆徳	罹病性	抵抗性	罹病性	罹病性	黄久娘80	81	53.1%	0.81
SCRひろ黄	罹病性	罹病性	罹病性	罹病性	発病指数は0:発病なし、1:一部黄化、2:株の半分が黄化、3:株全体が黄化			
無双	罹病性	罹病性	罹病性	罹病性				

病原型グループはHatakeyamaら(2004)による分類

●根こぶ病激発圃場での「あきめき」と罹病性品種



あきめき

罹病性品種

導入の留意点

- **新たな病原型グループの根こぶ病菌の発生に注意**
地域によっては「あきめき」を加害する菌株も見つかっている。

その他（価格帯、研究開発・改良、普及の状況）

- 普及の状況
 - ・ 2022年度の栽培面積は茨城県を中心に約570ha
 - ・ 群馬県、長野県などでも栽培されている

効果

◎根こぶ病・黄化病の被害軽減

3種類の根こぶ病抵抗性遺伝子を有するため、4つの根こぶ病菌の病原型グループ（上記左表）に抵抗性を示す。黄化病にも罹病しにくく、ハクサイ栽培で問題となっている2つの難防除土壌病害に抵抗性を示す。

◎化学農薬削減

根こぶ病の予防にはフルスルファミド粉剤等の化学農薬が使用され、20～30kg/10aの農薬散布が推奨されている。「あきめき」は、これらの化学農薬を使用せずに栽培できるため、約10,000～15,000円/10aの薬剤費が削減できる。

関連情報

- ① 農研機構品種サイト：
「あきめき」（平成23年）
- ② 株式会社日本農林社：
特選カタログ

